



国土交通省中国地方整備局
山口河川国道事務所

平成28年10月11日

同時資料提供

山口県政記者クラブ
山口県政記者会
山口県政滝町クラブ

お知らせ

国土交通省 中国地方整備局

山口河川国道事務所

平成28年度補正予算概要

問い合わせ先

○国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

副所長	(河川)	ともざわ しんいち 友沢 晋一	(内線204)
副所長	(道路改築)	かだ あつみ 加田 厚	(内線205)
副所長	(道路管理)	ひの よしひろ 樋野 義周	(内線206)
担当)	計画課長	よしだ まさと 吉田 真人	(内線261)

電話番号 (0835) 22-1785

山口河川国道事務所ホームページアドレス
<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

《平成 28 年度補正予算概要》

1. 配分方針

平成28年度中国地方整備局関係補正予算については、「一億総活躍社会の実現の加速」、「21世紀型のインフラ整備」、「地方の支援」及び「熊本地震や東日本大震災からの復興や安全・安心、防災対応の強化」の4本柱を対象とした所要の経費が計上されたところです。

配分に当たっては、地域の実情や地方公共団体の要望等を勘案しつつ、高い緊急性と効果が認められる事業に配分を行います。

また、山口河川国道事務所は、以上の方針を念頭に置き、山口県の県づくり「元気創出やまぐち！みらい開拓チャレンジプラン」を積極的に支援するため、各種事業を推進します。

2. 事業概要(山口河川国道事務所)

＜事業費総括表＞

(単位:百万円)

事業科目	事業費
河川関係	
一般河川改修事業	120
総合水系環境整備事業	25
河川維持修繕事業	86
小 計	231
道路関係	
改築	2,380
交通安全	433
維持管理	475
小 計	3,288
事 務 所 計	3,519

注. 事業費はいずれも補正予算額である。

3. 主要な施策、事業

●主要な施策、事業の概要

<河川事業>

事業名	平成 28 年度補正予算概要	備考
佐波川 ^{さばがわ} 一般河川改修事業 (堀地区 ^{ほり})	山口市堀地区 ^{ほり} において浸透対策を実施します。	資料- 1
佐波川 ^{さばがわ} 総合水系環境整備事業 (新橋箇所 ^{しんばし})	防府市高井 ^{たかい} の新橋箇所 ^{しんばし} において管理用通路等を実施します。	資料- 2
河川維持修繕事業	河川管理施設の補修や河川管理用カメラの高性能化などを行います。	資料- 3

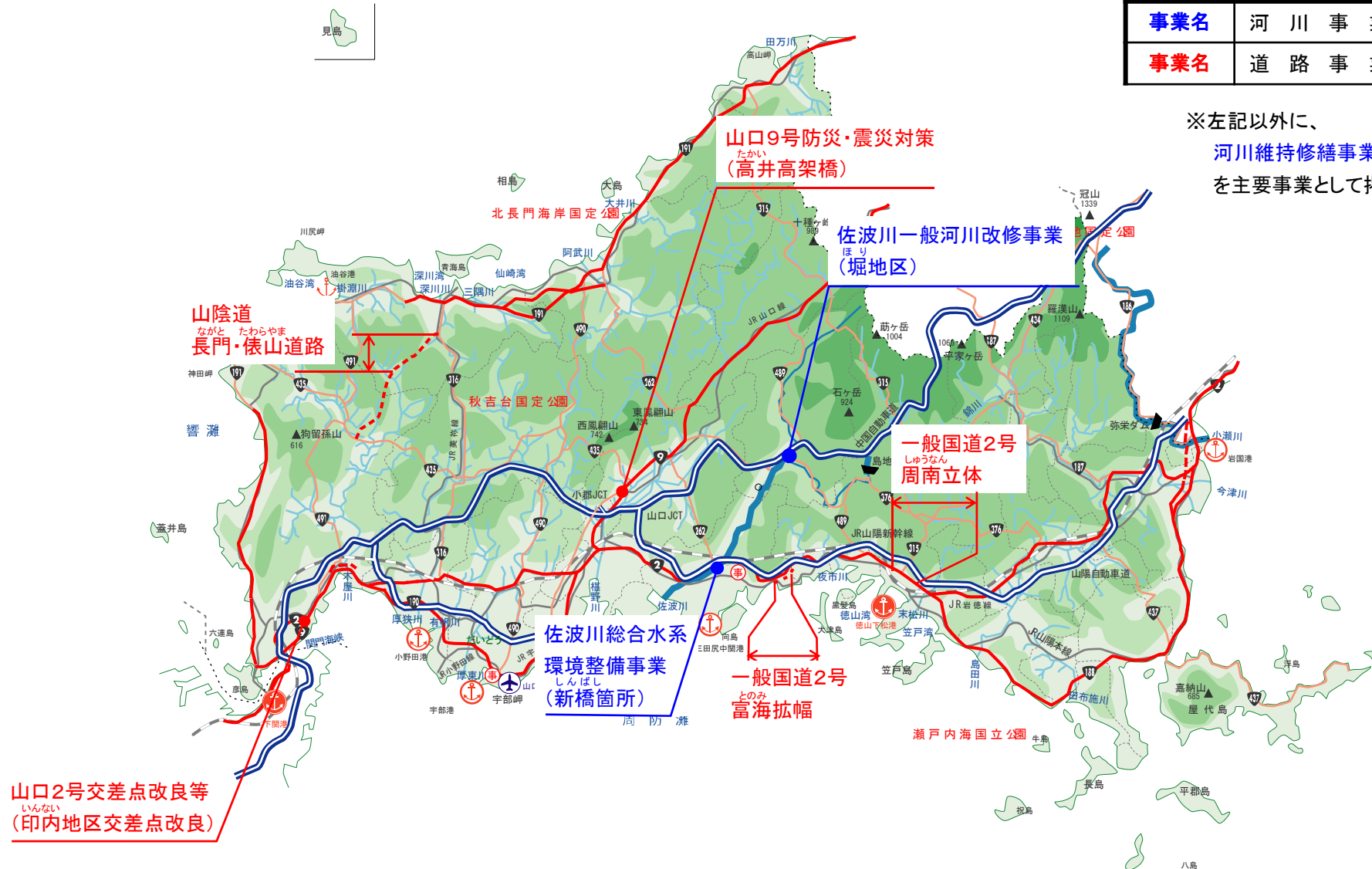
<道路事業>

事業名	平成 28 年度補正予算概要	備考
一般国道2号 周南 ^{しゅうなん} 立体	調査設計を推進し、左折レーン設置などの改良工事、舗装工事に着手します。	資料- 4
一般国道2号 富海 ^{とのみ} 拡幅	調査設計、改良工事を推進することで、着実な事業進捗を図ります。	資料- 5
山陰道 長門 ^{ながと} ・俵山 ^{たわらやま} 道路	平成31年度の完成に向け、改良・橋梁下部工事を推進することで、着実な事業進捗を図ります。	資料- 6
山口2号交差点改良等 (印内 ^{いんない} 地区交差点改良)	滑石 ^{なめらしいし} 交差点付近の自転車歩行者道の整備を推進し、着実な事業進捗を図ります。	資料- 7
山口9号防災・震災対策 (高井 ^{たかい} 高架橋)	高井 ^{たかい} 高架橋において、橋脚補強等の耐震対策を実施します。	資料- 8

主要事業箇所【山口県】

凡 例	
事業名	河川事業
事業名	道路事業

※左記以外に、
河川維持修繕事業
を主要事業として掲載



さばがわ
佐波川一般河川改修事業
ほり
(堀地区)

資料-1

事業費120百万円
※佐波川水系全体

●震災からの復興や安全・安心、防災対応の強化

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

佐波川堀地区は、堤防詳細点検の結果、堤防の浸透に対する安全性が不足しています。当該地区には人口・資産が集中しており、一度氾濫した場合には甚大な被害が発生するおそれがあります。

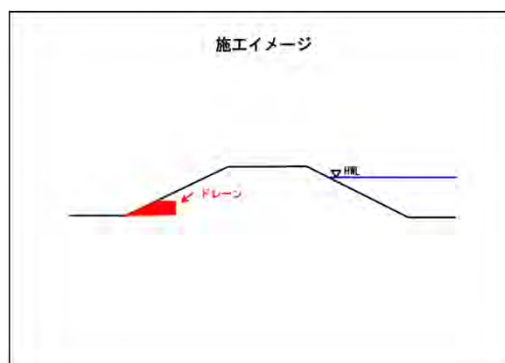
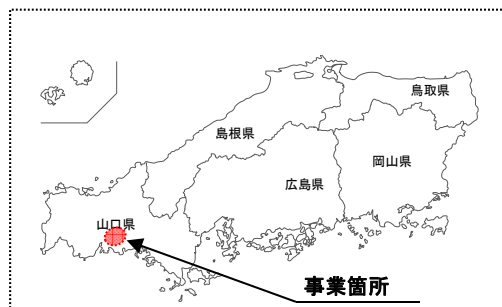
このため、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」の取組の一環として、堤防の浸透対策を緊急的に行い、治水安全度の向上を図ります。

2. 事業箇所

やまぐち とくぢほり
山口県山口市徳地堀地先

3. 平成28年度(補正) 予定事業内容

佐波川堀地区において、浸透対策L=1, 400mを実施します。



4. 期待される整備効果

堤防の浸透対策を実施することで、河川水等の浸透による堤防決壊等の重大な災害を防止します。

●21世紀型インフラ整備

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

山口県防府市では、佐波川の豊かな自然と千年のときを超えて息づく歴史と文化等の市固有のすばらしい資源や魅力を再認識し、守り育てていくことを目指しています。その佐波川の中でも中心的な位置にある新橋地区は、防府天満宮等の歴史的文化施設が集中し、多くの観光客で賑わう地域であり、近年の新たな環境整備に向けた機運の高まりを受けて「新橋地区かわまちづくり計画」が登録されたところです。

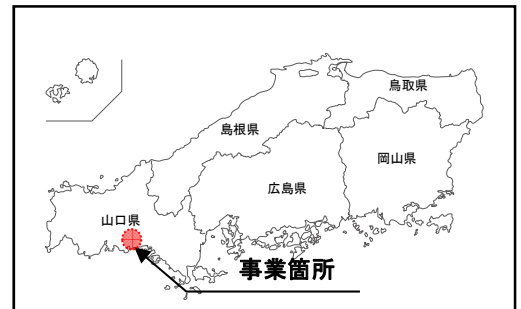
本事業では、市によるまちづくりと連携して、管理用通路整備等を行うことで水辺・水面利用時の安全性と周遊性を向上させることで、背後に広がる歴史や文化の色濃いまちとの散策空間を形成し、良好な水辺空間の形成による観光地の魅力を向上させます。

2. 事業箇所

山口県防府市高井地先 外

3. 平成28年度（補正）予定事業内容

新橋箇所において、
管理用通路 等を実施します。



平成28年度（補正）実施予定箇所



4. 期待される整備効果

防府市の賑わいの創出や川に親しむ機会の創出が期待されます。

また、佐波川とその周辺地域の自然環境、豊富な歴史や文化資産等を繋ぐ場として、防府市民や他の地域から訪れる方にも活用されることが期待されます。

●震災からの復興や安全・安心、防災対応の強化

防災・老朽化対策

1. 事業の必要性及び概要

洪水はもとより、熊本地震や東日本大震災などに対する災害対応にむけた強化並びに老朽化した護岸等河川管理施設の補修などを行います。

2. 事業箇所

ほうふし うえまつ
山口県防府市植松地先 外

3. 平成28年度(補正)予定事業内容

災害対応強化

・停電時においても河川の状態を提供するために河川管理用カメラに無停電電源装置を設置します。



河川管理用カメラへの
無停電電源装置の設置例

老朽化対策等

・老朽化により機能が低下した施設を補修し機能回復及び延命化を図ります。



老朽化した護岸

4. 期待される整備効果

地震による停電などの非常時においても河川の状態などを河川管理用カメラにより情報提供できます。

河川管理施設の補修を適切に行うことにより、施設の機能を確保するとともに、延命化等によるトータルコストの縮減が図れます。

●21世紀型インフラの整備

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

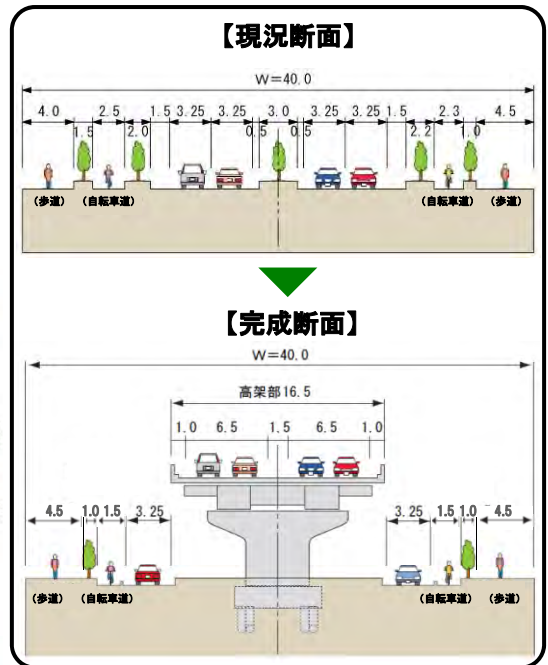
しゅうなん
周南立体は、周南市内の慢性的な交通混雑の緩和、交通安全の確保、物流交通や地域連携の円滑化を目的として、しゅうなん こうだちょう しゅうなん とくやま
周南市孝田町から周南市徳山に至る延長3.5km区間の交差点立体化及び交差点改良を行う事業です。

2. 事業箇所

しゅうなん こうだちょう しゅうなん とくやま
周南市孝田町～周南市徳山

3. 平成28年度（補正）予定事業内容

調査設計を推進し、左折レーン設置などの改良工事、舗装工事に着手します。



期待される整備効果

効果)「交通渋滞の緩和」

国道2号における交通渋滞の緩和が図られることが期待されます。



【写真①】三田川交差点を先頭とする渋滞状況

効果)「交通安全の確保

交通渋滞の緩和により、追突事故や交差点及び沿道施設付近での巻き込み事故などの左折事故の削減が図られます。



【写真②】朝ピーク時の三田川交差点付近の状況

従道路への左折車両と路肩走行二輪車の錯綜

●21世紀型インフラの整備

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

とのみ 富海拡幅は山口県周南市～防府市間における交通混雑の緩和を図るとともに交通事故の削減、地域経済の活性化を目的とした延長3.6kmの道路です。

2. 事業箇所

山口県周南市戸田～防府市富海

3. 平成28年度(補正) 予定事業内容

調査設計、改良工事を推進することで、着実な事業進捗を図ります。



現況状況



写真①防府市富海地区(渋滞状況)

現況状況



写真②防府市富海地区(事故発生状況)

4. 期待される整備効果

■産業活動の活性化

- ・防府市の工場集積地域内ではH27年8月に工業団地の造成が完了しており、今後新たな事業所の進出や雇用の創出が見込まれています。
- ・富海拡幅の4車線化により渋滞が緩和され、周辺地域をはじめとする産業活動の活性化、効率化が期待できます。

◆富海拡幅を利用する商用車の流動状況



●21世紀型のインフラ整備

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

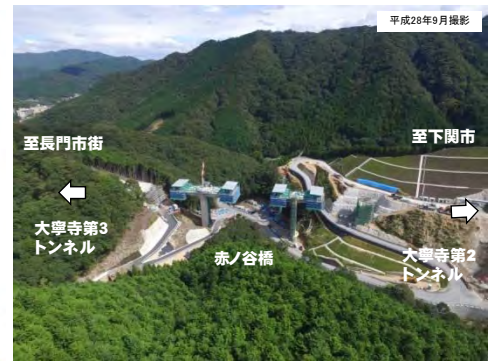
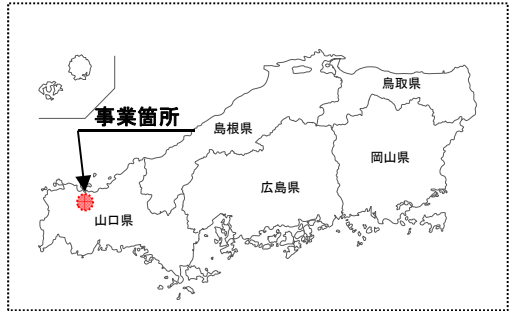
山陰道 長門・俵山道路は、一般国道491号や主要地方道 下関長門線等の要防災対策箇所、事前通行規制区間の解消、俵山地区の災害時の孤立回避、広域的な交流連携を目的とした、延長5.5kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

山口県長門市俵山小原～長門市深川湯本

3. 平成28年度(補正) 予定事業内容

改良・橋梁下部工事を推進することで、着実な事業進捗を図ります。



写真① 事業進捗状況 (長門市深川湯本(赤ノ谷)から長門市街方面を望む)

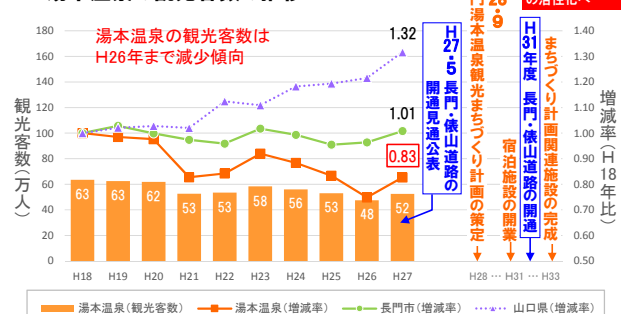


写真② 事業進捗状況 (長門市街方面から下関方面を望む)

4. 期待される整備効果

- ・長門市は、H28年9月に「長門湯本温泉観光まちづくり計画」を策定し、H43年までに宿泊人数33万人へ引き上げる目標設定を行っています。
- ・湯本温泉は九州からの来泊が多く、長門・俵山道路および山陰道の整備によって観光客の増加が期待されます。

▼湯本温泉の観光客数の推移



資料：山口県観光客動態調査、山口県の宿泊者数及び観光客の動向

山口2号交差点改良等 （印内地区交差点改良）

資料-7

事業費42百万円

●地方の支援

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所のうち、印内交差点や滑石交差点では、交差点で滞留する車両への追突事故が多発しています。また、豊浦小学校の通学路指定となっていますが、歩道が狭く児童等の安全性が確保されていません。

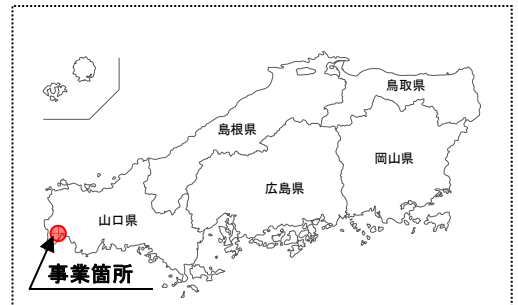
このため、付加車線整備等の交差点改良や自転車歩行者道の整備を行うものです。

2. 事業箇所

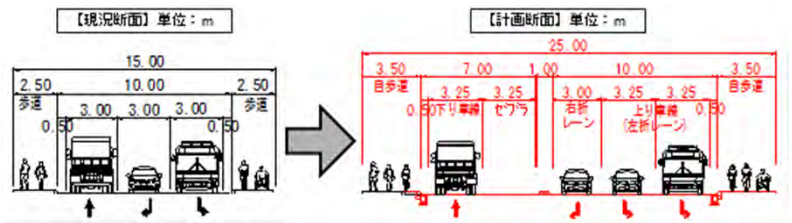
山口県下関市長府印内町

3. 平成28年度(補正) 予定事業内容

滑石交差点付近の自転車歩行者道の整備を推進し、着実な事業進捗を図ります。



【出典:国土地理院の2774件 (<http://maps.gsi.go.jp>) を基に中国地方整備局山口河川国道事務所作成】



写真①



写真②



●震災からの復興や安全・安心、防災対応の強化

1. 事業の必要性及び概要

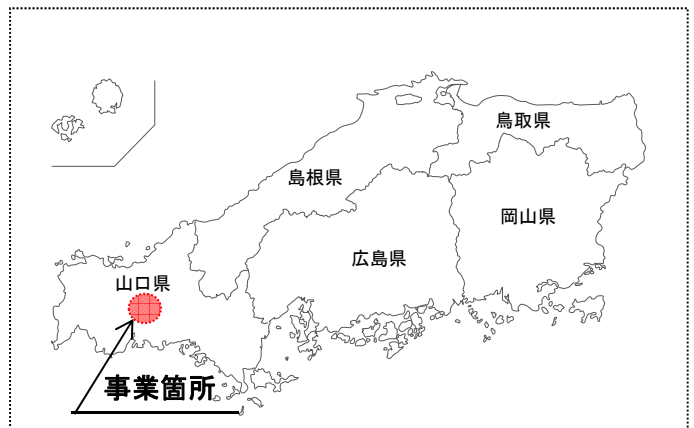
防災・老朽化対策

一般国道9号は、京都府京都市を起点とし山口県下関市に至る全長約734kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定されています。震災対策を実施することで、地震発生時における被害を軽減し、安全・安心で信頼性の高い道路ネットワークの確保を図ります。

2. 代表事業箇所

一般国道9号 高井高架橋 耐震補強

(山口県山口市朝田)



3. 平成28年度(補正)予定事業内容

高井高架橋において、橋脚補強工等の耐震対策を推進します。

全景



対策事例

橋脚補強



支承部補強

